

井原市
教育便り

と も な び

2025.12
VOL.16

今回のともしなびは、
子どもたちの学力の
状況などをお知らせ
します。



井原市マスコットキャラクター
でんちゅうくん

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から

1 学力調査の状況 (平均正答率 中学校理科は平均IRTスコア)

	小学校6年生			中学校3年生		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科 (IRTスコア)
井原市	64	55	55	55	45	501
岡山県	67	56	57	55	48	504
全国	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503
県比較	▲3.0	▲1.0	▲2.0	0	▲3.0	▲3
全国比較	▲2.8	▲3.0	▲2.1	0.7	▲3.3	▲2

令和7年度の全国学力・学習状況調査は4月17日に小学校6年生と中学校3年生を対象とし小学校は国語、算数、理科、中学校は国語、数学、理科の科目で行われました。平均正答率について小学校では、国語、算数、理科で全国値を下回りました。中学校では国語は全国値を上回ったものの、数学は全国値を下回っています。

また、中学校理科はCBT(コンピューターを利用したテスト)で実施され、その結果は正答率ではなく、IRTスコアという形で示されています。井原市のIRTスコアは全国値を下回っています。

2 学習状況調査の状況 (※上段 肯定率% 下段 全国との差)

	質 問 事 項	小学生	中学生
①	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。 【国語意義】	89.3 (▲1.1)	93.9 (5.6)
②	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。 【算数・数学意義】	93.8 (2.2)	81.0 (5.8)
③	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思う。 【主体的な学び】	82.3 (2.0)	82.7 (5.0)
④	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う。【対話的で深い学び】	82.3 (▲2.6)	87.1 (2.4)
⑤	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていたと思う。【自己調整力】	82.3 (2.9)	81.9 (8.5)
⑥	学校の授業時間以外に、1日あたり1時間以上勉強している。 【学習1h以上】	59.3 (5.3)	56.0 (▲5.6)
⑦	授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。(「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合) 【ICT使用】	46.9 (0.2)	54.5 (1.3)

○小学校【算数・数学意義】中学校【国語意義】【算数・数学意義】が全国値を上回っていることから、「授業で学んだことは将来に役立つ」と、学習する意義を見出している児童生徒が多いことがうかがえます。

○小中学校ともに【主体的な学び】、【自己調整力】が全国値を上回っています。各校で児童生徒が課題の解決に向けて自分で考えることや、学習した内容を振り返り次の学習につなげることができていることがうかがえます。

▲小学校国語・算数、理科、中学校数学では平均正答率が全国平均を下回っています。引き続き授業改善を進めるとともに、現在各校で行っている学力向上の取組について検討を行う必要があります。

▲中学校では【学習1h以上】が全国値を5ポイント以上下回っています。小学校も全国値は上回っているものの減少傾向となっています。児童生徒が意欲的に家庭学習に取り組むための工夫が必要です。

今後の取組

児童生徒が「わかった・できた」と感じながら学習内容が確実に定着していく授業が実践されるよう、引き続き授業改善に取り組みます。また、児童生徒のつまづきを早期に発見し、つまづきの解消を図るための取組を組織的に行います。

学校教育の中で、児童生徒の力をしっかりと伸ばしていきたいと考えています。

家庭学習の推進について

友達や先生のいる学校で学習するよりも、誘惑の多い家庭で学習する方が難しいと思います。しかし、家庭学習には多くのメリットがあります。

一つ目のメリットは、学習内容が定着しやすくなることです。授業で学習したときには理解していたつもりでも、時間が経つことで忘れてしまうことはよくあります。学習してから少し時間の経ったときにもう一度思い出してみることで、学習内容の確実な定着につながります。また、授業で分からなかった内容や疑問に思った内容について、家庭で自分のペースで調べたり考えたりすることは学習内容の深い理解につながります。

二つ目のメリットは、計画力や実行力がつくことです。みなさんは家庭学習に取り組む前に取り組む時間や取り組む内容・方法を自分で決めてから、家庭学習を行っていると思います。この自分で考えて決める過程が計画力となります。そして、自分で計画したことを誘惑に負けず実行することが実行力となります。

普段なかなか家庭学習に取り組めていない人もいるかもしれませんが、自分の成長のために家庭学習に取り組む習慣を少しずつつけてください。

保護者の皆様におかれましても、お子様への声掛け並びに家庭学習を行う環境整備など、ご協力をお願いいたします。

いばらっ子生活リズム向上プロジェクト

令和7年度 生活習慣に関するアンケートの結果から (実施期間: 令和7年4月~6月)

朝食摂取率



朝食を毎日食べるいばらっ子

未就学児・・・96.0%
小学生・・・93.9%
中学生・・・86.7%

井原市では、朝食摂取率100%を目標にしています。毎日朝ごはんを食べるためには、しっかり動く→決まった時間に寝る→決まった時間に起きる→朝しっかり食べるというサイクルが必要です。

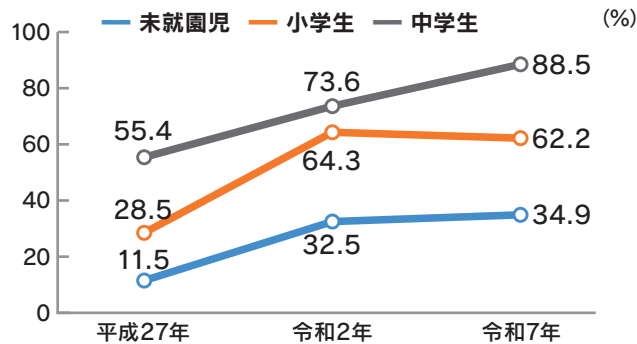
経年変化でみると・・・

この10年間の経年変化をみていくなかで、変化が大きいのはSNS利用率やスマホ・携帯電話保有率です。

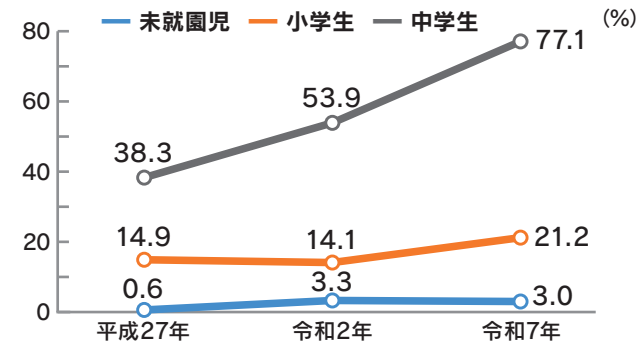
コロナ禍以降、子どもたちがメディアにふれる機会が大幅に増えました。楽しく便利な道具である一方、使いすぎるのが生活リズムの乱れにつながったり、健康を害したりすることにつながる危険性があります。

SNSやスマホの利用について、家族で話し合ってルールを決め、上手に利用しましょう。

SNS利用率



スマホ・携帯電話保有率



《ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業より》

若者のチャレンジを応援します!

『ふるさと井原“夢&志”アクション助成』!!

中学生から若手社会人を対象に“夢&志”の実現に向けたチャレンジを応援する『ふるさと井原“夢&志”アクション助成』を令和6年度に新設しました。

昨年度は、厳正なる審査のもと、高校生2組・大学生1組・一般1組、計4件に助成するとともに、3月には活動報告会も開催いたしました。

今年度は、すでに中学生1組・高校生6組・一般2組、計9組10件の申請(10月末時点)を受け、審査結果に応じて助成を行うとともに、合宿や交流会などの企画も並行して開催するなど、活動を支援してきました。

今後も、実行委員会が目標として掲げる「“夢&志”あふれるウェルビーイングな『ひとづくり』~若者に選ばれるウェルビーイングなまち・井原へ」の実現に向け、様々な取組を拡充・継続していきたいと考えております。

★R7年度主な助成事業名

- ・高校生がつくる! 子どもの居場所づくりPROJECT
- ・竹取物語
- ・焼き団子屋さんで竹林保全



令和8年1月～3月 行事予定

◎令和8年井原市二十歳のつどい

- ・と き 令和8年1月11日(日) 11時～
- ・ところ 井原市民会館ホール

◎第42回星の郷ふれあい健康マラソン大会

- ・と き 令和8年1月25日(日) 10時20分出発予定
- ・ところ 美星運動場出発・ゴール

◎第44回生涯学習の集い「まなびフェスタ in いばら」

- ・と き 令和8年1月25日(日) 10時～15時
- ・ところ 生涯学習施設「アクティブライフ井原」全館
- ・内 容 『体験でまなび楽しみ役立てる』をテーマとし、本年度も生涯学習体験に重点を置いて、来場者が学ぶ楽しさや大切さを感じられるよう、幅広い年齢層が参加できる講座を開催する。併せてふるさと特産品コーナー、飲食コーナー、スタンプラリーを実施する。

◎第31回ふれあいセンターまつり

- ・と き 令和8年2月8日(日)
- ・ところ 井原市ふれあいセンター

◎第21回芸能文化発表会

- ・と き 令和8年2月28日(土)・3月1日(日)
- ・ところ 芳井生涯学習センター

◎第40回全国健康マラソン井原大会／第29回岡山県ハーフマラソン選手権大会

- ・と き 令和8年3月1日(日) 10時出発予定
- ・ところ 井原運動公園陸上競技場出発・ゴール

◎第28回星の郷文化発表会

- ・と き 令和8年3月7日(土)・8日(日)
- ・ところ 美星公民館

今後の井原市の就学前教育・保育施設のあり方について(答申)

令和6年12月3日、今後の井原市の就学前教育・保育施設のあり方について、井原市就学前教育・保育施設のあり方検討委員会(吉川幸委員長ほか11人)に諮問しました。

本委員会において、6回にわたって審議を重ねられ、このたびその審議結果について答申を受けましたので、概要をお知らせします。

市では今後、この答申内容を真摯に受け止め、令和9年度からの公立就学前教育・保育施設(公立幼稚園・公立保育園)の再編整備に向けて検討を行います。

諮問事項 (1) 公立就学前教育・保育施設の適正規模・適正配置について

答申内容

- ・現在の13幼稚園を統廃合することにより、複式学級を解消し、一定の集団規模の園にする。
- ・保護者が、子どもの実態や家庭の状況に応じて園を選択できるよう、幼稚園の学区制を廃止する。
- ・再編後の公立就学前教育・保育施設数は5園程度とすることが適当である。

諮問事項 (2) 公立就学前教育・保育施設の形態について

答申内容

- ・公立幼稚園、公立保育園の両方が設置されている西江原、芳井、美星地区については認定こども園(※)に移行することが望ましい。

※認定こども園

0歳から就学前の子どものみが入る施設です。0歳児から2歳児は、保護者の就労等、保育の必要がある子どもが通うことができます。3歳児から5歳児は、保護者の就労等に関係なく通うことができます。



R8.4月リニューアルオープンに向けて市民体育館の改修工事を行っています!



井原体育館では令和8年4月のリニューアルオープンにむけて、改修工事を行っています。

今回の工事では、地中熱

を使った環境にやさしい空調設備の導入、トイレの洋式化、太陽光発電設備のあるカーポートの設置を行います。

利用者のみなさまが快適に体育館を使えるように、工事を進めていますので、オープンまで今しばらくお待ちください。



片山科学子ども教室 開催

10月26日(日)に岡山理科大学ボランティアセンターの学生さんをお招きし、「片山科学子ども教室」を開催しました。

当日は芳井生涯学習センターに70名以上の参加者が集まりました。開会行事の後、サイエンスショー「空気の力」では、空気を出す力でボールを浮かせたり、空気砲の空気はどんな形で移動しているのかを確認する実験をしたりと、様々な驚きのある実験を見せてもらいました。その後は、4つのブース「キミも今日からでんき博士!」「手作り潜望鏡でのぞいてみよう!」「作ってみよう!まきまきコースター」「ドキドキ実験!光のひみつ」に分かれて科学の楽しさを味わいました。

参加者からは、「知っている事でも、もっと詳しく知ることができました。」「親も新鮮な気持ちで参加させてもらいました。」等の感想がよせられました。

科学の魅力に気づき、理科が好きになるきっかけになれたのではないかと感じることができました。



井原市スポーツフェスティバル2025



令和7年10月5日(日)、井原運動公園を中心に、市民体育祭に代わるスポーツイベントとして正式に決まった井原市スポーツフェスティバル2025が開催されました。

井原市内外、約500名の方に参加していただき、全10種目のスポーツを楽しんでいただきました。

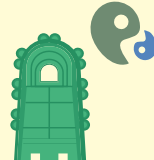
井原市文化財センター開設20周年記念事業

井原市文化財センター「古代まほろば館」は令和7年11月に開館20周年を迎えました。今年度は20周年を記念して「吉備の古墳時代」をテーマに、記念企画展や講座を開催しました。

- ★5月:文化財めぐり～吉備路の歴史遺産～
- ★6月:まが玉ストラップづくり
- ★10月:記念企画展「「吉備」の横穴モノがたり」
- ★10月:井原市歴史講座「吉備の古墳時代」



文化財めぐり



井原市歴史講座



井原市教育委員会便り と も な び

■発行 井原市教育委員会

■編集 教育総務課

■住所 井原市井原町311-1

TEL 0866-62-9531 FAX 0866-62-0332

メール ksoumu@edu.city.ibara.okayama.jp

企画展「鏡獅子に宿る技 — 平櫛田中の彫心と探求 —」

平櫛田中美術館では12月16日(火)から企画展「鏡獅子に宿る技—平櫛田中の彫心と探求—」を開催しています。

鏡獅子は、平櫛田中が試作に試作を重ね22年の歳月をかけて完成させた代表作です。田中がそれまでにつちかってきた彫刻の技術を全て投入して完成した鏡獅子の制作過程をひも解いていくと、田中の情熱と苦心が見えてきます。副題にある「彫心」とは、心にしみこむほど苦心することを言います。

田中は27歳で高村光雲の門を叩いた後、光雲門下の逸材・米原雲海の仕事場に入りし、西洋で大理石彫刻に使用した星取り法の技術を習得しました。それ以来、最後までこの技法により制作を続けました。

この企画展では、田中の木彫作品、石膏原型を中心として展示し、田中の技を紹介します。あわせて田中の手紙からは、鏡獅子の制作過程や制作に対する思いを紹介します。この機会に、美術館で田中の作品をご鑑賞ください。



平櫛田中《鏡獅子》1958年
東京国立近代美術館蔵
撮影 花田ケンイチ

奨学資金 — 次代を担う井原の学生を応援します —

●井原市奨学資金貸付

教育委員会では、経済的事情により修学困難な学生を対象に奨学資金の貸し付けを行います。

【貸付対象】

- ・市内に住所を有しており、高等学校、大学、またはこれに相当する学校に在学している人等
- ※日本学生支援機構など、他から奨学資金の貸し付けを受ける人は対象外です。

【貸付金額】

- ・大学またはこれに相当する学校 …月額5万円
- ・高等学校またはこれに相当する学校 …月額1万円

【奨学資金の返還】

- ・貸し付けた奨学資金は、卒業してから1年後、貸付期間の3倍の期間で返還

●返還の特例●

奨学資金を借り受けた人が、卒業後、返還期間満了まで市内に居住または、市内の事業所などに勤務すれば、申請することによって返還の特例(全額免除)が適用されます。

※令和8年度の申請受付は、4月1日(水)～5月29日(金)の予定です。



●井原市奨学金返還支援補助金

日本学生支援機構第一種奨学金を借りて大学等で修業し、卒業後、市内に定住などを行っている方に奨学金の返還金額の一部を補助します。

※正式な奨学金借入の申し込みを行う前に手続きが必要です。

【事前登録対象】

- ・大学等に進学する本人もしくは保護者等が市内に住所を有している人
- ・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受ける見込みである人
- ・大学等を卒業後、市内に定住し、かつ就労する意思のある人

【補助金額】

- ・月賦返還額(上限15,000円)×12か月
- 【最長72か月・最大108万円】

(令和7年12月現在)

申請方法 教育総務課に備え付けの申請書にその他必要書類を添えて申し込み

※詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】 4階、教育総務課(TEL62-9531)

